

「個別の指導計画」記入例14

総合支援学校に在籍する、聴覚障害のある高等部1年生の記入例です。

高等学校に準ずる教育課程を編成しています。

様式1は、各教科・領域等の指導に当たって必要がある場合、各教科・領域における生徒の様子（実態）と、その教科の目標を達成するための、生徒の実態に即した支援の目標（方針）を記入しています。

自立活動については、年間指導目標を設定しています。

様式2は、シラバス一覧等から指導内容を転記しています。

自立活動については、指導内容を設定しています。

様式3は、「指導内容・指導方法・手だて等」に、各教科・領域等の指導において特に必要となる支援や配慮を記入するとともに、考査の素点や評定を記入し、指導目標が達成できたかどうかを総合的に評価します。

(様式1)

個別の指導計画

県立 総合支援学校

学部・学科 学年・組	高等部・科 1年組	校長氏名印	担任氏名印	期間 平成 年4月～平成 年3月
氏名				

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	就職に向け、働くことへの意欲や関心を高める。 社会自立に向けて、表現の幅を広げる。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	校内実習や現場実習等を通して、自分の将来について考えることができる。 場面や状況に応じて、相手の気持ちを考えた表現ができる。
---------------------------	----------------------------------------------	---------------------------	-------------------------------------------------------------------

教科等	幼児児童生徒の様子	年間指導目標
教科 総合 現代 社会 数学 理科 総合 A	<ul style="list-style-type: none"> 文章の読み書きに抵抗を感じており、長文読解が苦手である。 言語力は中1相当である。 	<ul style="list-style-type: none"> 得意な手話を用いてことばの意味や概念をつかむとともに、手話や書き言葉を用いて表現する力を育てる。 自分で言葉の意味を調べる力を付ける。
	<ul style="list-style-type: none"> ニュースに関心がある。 テレビを通して情報を得るが、耳からの情報が断片的であるため、正確に理解することが難しく、曖昧な状態のままのことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確に情報・知識をつかみ、それを自らの言葉で説明したり、文章でまとめたりすることができるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> 計算は得意であるが、読解が苦手なため、複雑な文章題は自力で内容を読み取るのに困難が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 図や表などを書いて多面的に理解する方法を身につけ、必要な手段を積極的に活用することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 実験・観察には興味があるが、概念形成が不十分で、結果を文章でまとめたり、考察することが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚教材を用いて、概念形成の理解を助けるとともに、実験・観察の結果をレポートにまとめる力を付ける。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 各教科・領域等の指導に当たって、必要がある場合、児童生徒の様子(実態)を記載します。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 障害の特性に応じ、その教科の目標を達成するために必要な支援の目標を記載します。 </div>

域		
等 自 立 活 動	<コミュニケーション手段の活用> <ul style="list-style-type: none"> 健聴者とコミュニケーションするときには、聴覚口話法と手話を用いる。 聴覚障害者と話すときは、手話を用いてコミュニケーションを図るが、知らない手話表現も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 手話単語や手話表現を習得する。
	<言語力の向上> <ul style="list-style-type: none"> 漢字を読む力は、中1程度である。 濁点や連濁などが苦手である。 助詞や動詞の活用がやや苦手であるが、注意すれば自力で直せる。 場に応じた表現方法(敬語など)が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きの力をつける。 学年相応の敬語が使えるようになる。
	<社会自立に向けた情報活用能力の向上> <ul style="list-style-type: none"> 時事には興味はあるが、政治経済的な内容はその背景を十分につかみきれていないため、断片的な理解にとどまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞が一人で読めるようにする。 国語辞典や事典などを積極的に活用できるようにする。

学部・学科 学年・組		高等部・科 1年組		氏名								
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教 科 領 域	国語総合	国語総合	伝えあう 漢字に親しむ 古文に親しむ	随筆の楽しみ 読む楽しみ	広がる見方 考え方を 物語の世界	自分の考えを書く 物語の世界	詩歌との出会い 漢文のとびら	読みを深める らべむ	唐詩のしむ 孔子のこ	論理を育む 譜のしらべ	和歌と俳諧のしらべ いざない 未来をひらく	
	現代社会	現代社会	現代社会の諸問題を 探る	現代の社会生活と 青年	現代の経済社会と あり方	現代の経済社会と あり方	国際社会の動向と 日本のはたすべき役割	国際社会の動向と 日本のはたすべき役割	国際社会の動向と 日本のはたすべき役割	現代の民主政治と 民主社会の倫理	現代の民主政治と 民主社会の倫理	
	数学I	数学I	整式	実数	不等式	二次方程式	二次関数と グラフ	グラフと 方程式・不等式	三角比	三角比と 図形	図形の計 量	
	理科総合A	理科総合A	元素と単体・化合物 の構成粒子	原子の構造と物質 の構成粒子	化学変化と化学反応 の応	状態変化とエネルギー の応	酸・塩基の中和反応と エネルギー	酸化還元反応と エネルギー	日常生活・生物のつくり くる物質	日常生活・生物のつくり くる物質	日常生活・生物のつくり くる物質	日常生活・生物のつくり くる物質
体育	体育	<運動> 体づくり運動 器械運動	<運動> 体づくり運動 器械運動	<運動> 体づくり運動 器械運動	<運動> 体づくり運動 器械運動	<運動> 体づくり運動 器械運動	<運動> 体づくり運動 器械運動	<運動> 体づくり運動 器械運動	<運動> 体づくり運動 器械運動	<運動> 体づくり運動 器械運動	<運動> 体づくり運動 器械運動	
<p>シラバス一覧等より指導内容を転記します。 あるいは各教科等の短冊を貼付します。</p>												
英 語 等 情 報	英語I	英語I	つづり字と音の 関係	異文化交 流	お気に入り の紹介	生きるこ との意味	平和の大 切さ	世界で活 躍する日 本人	考え方や 価値観の 違い	科学技術 の発達 ・歴史	世界の貨 幣と文化 表現	絵画での 宇宙の生 命と神秘
	家庭総合	家庭総合	人と食生活 の品	栄養と食 品	献立と調 理	人と衣生活 の工夫	被服材料 の工夫	被服の選 択と安全	被服製作 の工夫	私たちの 消費と経 済	消費者の 権利と責 任	消費生活 と資源・ 環境
	情報A	情報A	コンピ ュータの 基本操作 と入力 練習	情報社会と 情報の活用	問題解決 の工夫	情報の伝 達	情報の検 索と収集	情報の検 索と収集	情報の受 発信と共 有	ネットワーク 利用の心 構え	ネットワーク 利用の心 構え	ネットワーク 利用の心 構え
自 立 活 動	自立活動	自立活動	自分の聴力を確認する。 (聴力検査の実施)	自分の聴力を確認する。 (聴力検査の実施)	自分の聴力を確認する。 (聴力検査の実施)	新聞記事を読む。	新聞記事の内容を文章でまとめる。	新聞記事の内容を文章でまとめる。	新聞記事の内容を聞き手に分かるように発表する。(手話・発音など総合的な力の育成)	新聞記事の内容を聞き手に分かるように発表する。(手話・発音など総合的な力の育成)	新聞記事の内容を聞き手に分かるように発表する。(手話・発音など総合的な力の育成)	新聞記事の内容を聞き手に分かるように発表する。(手話・発音など総合的な力の育成)
そ の 他	その他	その他	自立活動以外の教科・領域については、高等学校1年の教育課程に準ずる。 <学校生活全般における配慮事項> ・時々補聴器を外していることがあるので、その時は理由を聞き、装用するように促す。 ・漢字の読みが苦手なので、読みについては、指文字や筆談を使って、理解しているかどうかを確認をする。 ・知らない手話表現があるので、教員が積極的に手話単語や表現を指導するよう心掛ける。									

学部・学科 学年・組		高等部・ 1年 組	氏 名			指 導 記 録			
教科等	学期の指導目標	指導内容 指導方法 手だて等	評 価				学習成績		
			指導の 目 内 方 標 容 法		指導の経過 評価(所見) 検討課題等	学習成績			
			4	4				4	4
国語総合	↑ 年間指導目標・年間指導計画に即して、学期の指導目標を記載します。	↑ 指導目標に即して、具体的な指導方法や支援の手だてを記載します。	4	4	4	↑ 各教科・領域担当が指導目標に即して評価します。支援した事柄や配慮に対する評価もあわせて記載します。	中間調査 素点: 平均:		
			3	3	3		期末調査 素点: 平均:		
現代社会			2	2	2		1 学期 得点: 平均:		
			1	1	1		評 定		
数 学	・基本的な計算問題を習熟する。 ・文章題を解くに当たって文章の内容を式や図表で表現する。	・教科書の基本問題を繰り返し練習させる。 ・文章の内容を整理できるように、問題を解くために必要な基本事項を説明する。	4	4	4	・基本問題を正確に解くことができた。 ・文章の内容を式や図表などで表現し、解くことができた。 ・似たような文章題を出題し、習熟を図ることが課題である。	中間調査 素点: 平均:		
			3	3	3		期末調査 素点: 平均:		
理科総合A	・物質を構成している基本的な粒子の概念や化学変化について図や写真をもとに言葉で整理できるようにする。	・実験を積極的に取り入れる。また、実験時の様子をデジカメやビデオで記録に残し、レポート整理の際の支援に役立てる。	2	2	2	・混合物の分類について実験に積極的に取り組み、意欲的にレポートをまとめた。 ・まとめる際、助詞の指導に少し時間をかけて取り組ませることが課題である。	1 学期 得点: 平均:		
			1	1	1		評 定		
域 等	・辞書の活用の習慣を身に付けさせる。 ・格助詞の間違いを少なくする。 ・漢字の読み書きの力を付ける。 ・手話でコミュニケーションを図る力を付ける。 ・場に応じたコミュニケーションの技術を身に付ける。	・新聞を読ませる際、分からない言葉の意味を自ら調べる時間を確保する。 ・日記指導の際、やり直させるだけでなく、短文作りもさせる。 ・読字力検定試験に向けての家庭学習の取り組みについて丁寧な指導を行う。 ・手話ニュースを見せることで手話表現の読み取りや単語の理解を深める。 ・職場見学を通して、挨拶やコミュニケーションのしかたについて学ばせる。	4	4	4	・教員や他の生徒と一緒に調べる機会を増やすことで、自分から調べることへの抵抗が少なくなってきた。 ・助詞の間違いは少しずつ直ってきたが、文を書く絶対量が不足している。 ・日記を毎日書く習慣が定着してきたので、この意欲をきっかけに、正しい文を書くことにも意欲を上げたい。 ・読字力検定試験で中2相当の問題に挑戦させた結果、8割以上の成績を収めることができた。 ・手話ニュースに興味を持つことができたが、時事に関する基礎知識を身につけることと平行して行う必要を感じた。 ・職場見学では、分からないことに対してその場で積極的に質問できた。発音にも気を付けることができた。この主体的な態度を2学期のインターンシップにつなげたい。	中間調査 素点: 平均:		
			3	3	3		期末調査 素点: 平均:		
自 立 活 動			2	2	2		1 学期 得点: 平均:		
			1	1	1		評 定		